

令和7年度 第2回戸畠多職種連携合同研修会(地域ケア研究会)

◆日 時:令和8年1月22日(木) 18時30分~20時10分

◆場 所:戸畠区医師会館 4階講堂

◆講演内容:地域包括ケアシステムの構築に向けた活動紹介および情報交換会 第3弾

【1部】戸畠区医師会の取り組み 戸畠区医師会 事務長 徳富信行氏

【2部】「開かれたカフェ」が地域を繋ぐ

～活動再開と地域展開から見えてきた多職種と地域連携の可能性～

住宅型有料老人ホームサンセリテ明治町 山内孝太氏

西戸畠地区社会福祉協議会 会長 今泉孝子氏

【3部】よろず相談光の川の活動を通して見えてきたもの

牧山東地区社会福祉協議会 会長 井筒美穂氏

【4部】校(地)区社協と施設との連携について

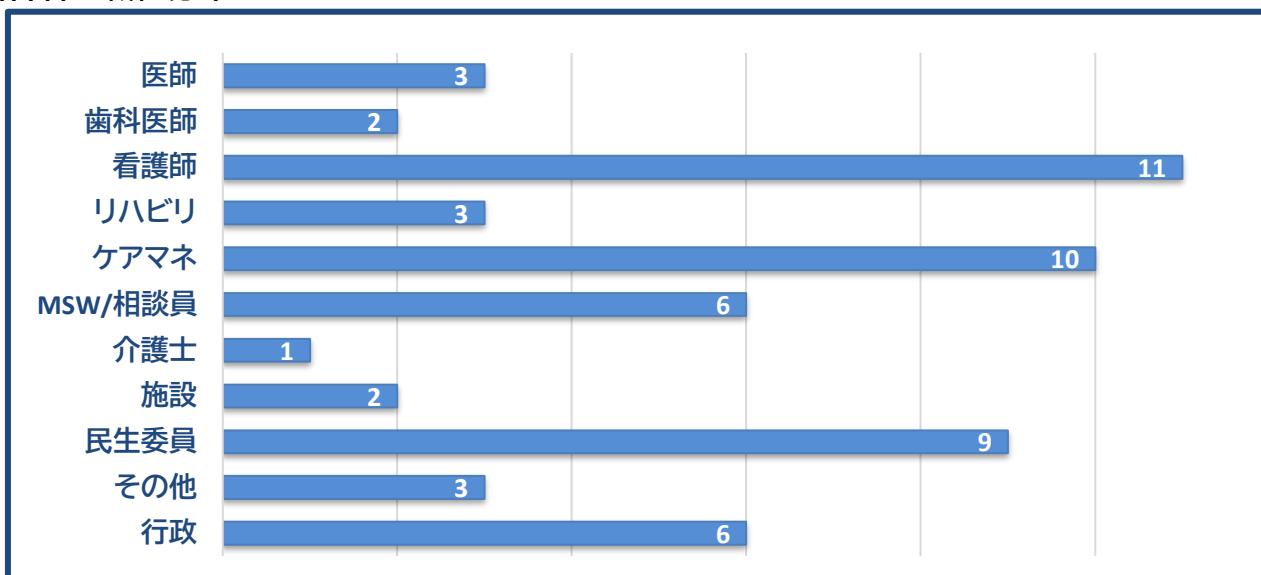
戸畠区社会福祉協議会 主事 平安真子 氏

【グループワーク】～みんなの活動を教えてください～感想・取り組み紹介・今後の活動

◆参加者:79名 (内訳:講師5名、参加者66名、事務局8名)

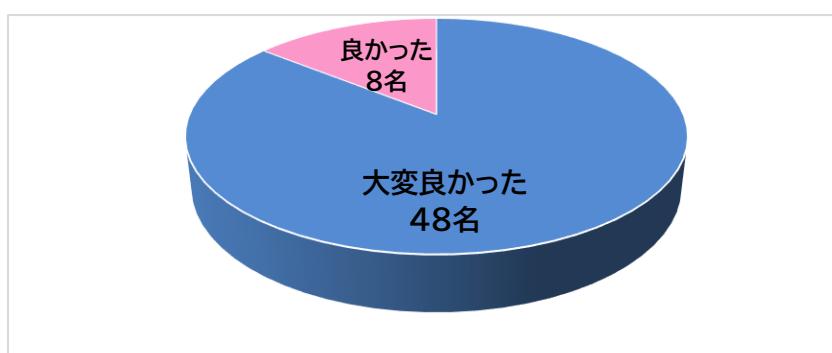
◆アンケート集計結果 n=56 回収率75.6%(講師除く)

1、回答者の職種分布



2、講演会の内容について

100%の方が「大変良かった」「良かった」と回答



あまり参考にならない 0人
参考にならない 0人

3、研修内容について、印象に残ったことや感想など、ご意見をおきかせください

- 西戸畠・牧山の活動が印象に残りました
- 100円有償でゴミ出しなど面白いアイデア・取り組みであった。
 - 事業所だけでなく地域の住民の人々を巻き込んでいく活動が大事と思われた
- 人口減少社会ではありますが、そのような状況なので地域のつながりを密にした方が良いと思いました
- それぞれの活動紹介を通して、地域で暮らし続けることの意味や、自分が困った時にどこに助けを求めたらいいのかなど、たくさんの資源を知ることができた。地域の困りごとは地域で解決するという活動が素晴らしいかった
- 地域の活動がこんなにもたくさんされていることを今まで知りませんでした。病院職員として私たちももっと地域の方達と一緒に活動ができたら良いと思いました。伝えて行きたいと思います
- 認知症カフェなど、区内で開かれているのを知らなかったので良い機会になった
- 「牧山東」の取り組み、真似していきたい
- 地域のつながり、困りごとを支える活動を知ることができ大変勉強になった [意見多数](#)
- よろず相談光の川の活動について、少しでもできることがあればという思いと、ボランティアのハードルの高さを感じる発表でした
- 自分がやってみたい活動ばかりでした。地域とつながりたいです
- 戸畠区は高齢化が進んでいますが、地域でこれだけの取り組みがされていることに驚きました。
 - 自分は市外ですが、同じような取り組みもあるなと思います。私自身の地域にも参加したいです
- 医療と地域活動という近いようで実は遠いテーマでどのように話がまとまるのか興味がありました。
 - 私たちの方からも近づいていく時代にきているのだと感じることができました
- よろずの川の様なシステムを広げてもらえたと 思います
- 地域は家族だ！牧山東の取り組みに感動しました。よろず相談の活動を広げていきたいと思い、自分も住んでいる地域のボランティアに参加したいと思った
- 地域で行われている活動について知る機会となり、地域を知ることができてありがたかった。
 - 市民センターが取り組まれてあること等知ることができた。ありがとうございました。
- 「光の川」は以前助けていただいたので、広がればよいです
- 地域の方への活動内容が協力的でよかったです
- 戸畠区の取り組みを知ることができて良かった。グループワークではいろいろ職種の方の話が聞けて参考になった
- 「知る」ということが大事ととても感じました
- 100円でボランティアに興味を持ちました、色々な地域で根づくといいなと思いました
- よろず相談光の川のような活動がもっと地域全体に広がっていけばいいなと感じました。認知症カフェでの皆さんの笑顔がとても印象的でした。
- 反対意見や成功するか分からない取り組みも、何年もやり続けていくことで少しずつ地域の住民の参加が増えたり、住む人の地域への認識が変わっていた経過を聞けたことは大変勉強になりました
- 光の川の取り組みが画期的でした
- 戸畠区での活動を聞きまして、五年計画でも継続成長することは大変なことだと思いました。
 - 素晴らしいと思います。十分年齢に達しているので今後介護支援ボランティア事業に微力ながら参加させていただきたいと思います
- 病院や施設の方々も地域の中に入っているこう！！という意欲を感じました。やはり色々な機関が手を組んでいかなければならぬと感じました。
- 毎回勉強になる活動方法が知れることができ。専門職の方との話し合いが欲しい
- 区医師会の取り組みが多岐にわたっていること、初めて知ることも多かった
- 多職種が連携していくことの大切さを再認識することができました
- 社会資源一つ一つ深堀して聞くことができた。医師会の発表を含め、今後の連携が円滑にいく研修だと

感じた

○まだまだ知らない民間の支援があることが分かった。世代交代の問題では、自分が問題の世代であることから耳が痛かった

4. 地域包括ケアシステム構築について、職場や所属団体で取り組んでいることはありますか？

- 他施設との連絡をよく取るようにしている
- 道路サポーター・困難者への食物支援・町かどチェックなど
- 歯科医師会による在宅病院連携
- 所属団体において多職種との連携のため、顔の見える関係で会議を行っている
- 病院で療養後、住み慣れた地域で生活継続できるのか、ケアマネや地域の活性に目を向けていきたい
- 外来患者さんが通院困難な方は往診に変えていったり、デイサービスなど
- 勤務している病棟が地域包括ケア病棟ですが、その中で退院時の相談もありますが、病院のまつりを通して地域の方との関りや患者会への参加を行っている
- 職場では認知症カフェが行われているが、参加したことはない
- 安心して地域へ戻っていただけるように、チーム医療を強化して退院支援をしている。必要な時は入院してできるだけ長く地域で過ごしていただけるように頑張りたい
- 地域の連携調整会議に参加している
- 沢見市民センターいちご講座への支援をはじめ、地域活動に取り組んでいる
- 地域リハ支援センター
- 民生委員との関りを持てるように取り組むようにしている
- まちかど相談、市民センターへ出向き理学療法士によるリハビリや相談
- 今後検討したい
- 健康サロンやマルシェなど昨年取り組みしていた
- 病院としてもっとなにかやりたいと思うのでぜひ声をかけてほしい
- 日常業務以外、取り組みができていないので何か地域のためにできることがないか考えたいと思った
- サロンや季節の行事等に中学校・保育所・高校なども参加していただくようになっている
- 安否確認やふれあいを大切にやっていく
- 地域の人(特に高齢者)のつながりづくり。市民センターでもアトラクションやスポーツサロンなど。
- 専門職からの相談を受け、必要な支援につなぐ